

# 講堂活用ワークショップ各グループの話合いのまとめ集約

テーマ①～③について、5グループに分かれて話し合いました。

## テーマ

- ① 立入禁止段階・・・講堂の工事段階(調査、表面補修、構造補修)とできること(講堂に限らず教育資料館・門衛所と周辺まで含む)の想定
- ② 内部立入ができる段階・・・講堂の保全改修工事完了後安心して利用できる段階での活用計画
- ③ 三島通り界隈のまちづくり・歩いて楽しむための計画

## テーマ①のAグループ

- ・ 周辺地域を巻き込んで活動を広げていくために、町全体で(点ではなく)線をつないでいく。
- ・ 神戸では建築見学、大正ロマンにブームが起き、若い人でも写真を撮りに来るようだ。
- ・ 活動を長く続け、プロセスの情報を発信していく。
- ・ ホームページもあるが、SNSを有効に使い、若い人に情報が届くようにしたい。

## テーマ①のBグループ

- ・ 講堂活用までは相当の年数がかかるだろう。今できるのは、前庭空間が大変良い場所なので、そこを活用し、思い出に残るものにすべきだ。若い人たち、例えば北高の生徒たちが身近な存在として感じられるように、入学式卒業式にこの空間で写真を撮る、また、一般の人たちもそこで写真を撮って思い出に残るようにする。
- ・ そこから様々な情報発信媒体を使っての、若い人からの発信力に期待していきたい。
- ・ この講堂の将来像を描いた同寸大の看板(全体像が見える)を掲げ、提示する。それをもとに県民に情報を届け価値観を広げていくことが講堂改修の機運を高めることにつながるのではないか。
- ・ 建物の魅力的なナイススポット、写真スポットを提示し、そこにこの講堂も入れ込む。
- ・ 歴史的な建物を回るような、ツアーを旅行企画として提案していただく。写真を撮ったものが、情報として出ていこう。
- ・ 県民以外の人たちの力も借りて情報発信をしていく。
- ・ 外の空間をイベントで使っていく。周辺の高校生や芸工大の若い人たちの力なども借りながら、使ってもらえるように、集まってもらえるようにいろんな企画(若い人が集まれる企画)を提案していく。若い人たちが集まれる提案をして行く。学校にお願いしたいのは青空授業。あの場所で行ってほしい。学校での思い出を残して、だんだん広げて行きたい。

### テーマ②のCグループ

- ・ グループ内には山形大学、北高出身者もいて、改めて思い入れの強いが伝わってきた。それぞれの思いが詰まった大事な場所である。
- ・ この講堂はやはり、音の良さが際立っている。音楽会であるとか、そうした使い方が良い。大きさ的にもマイクを使わなくても生の声を聞いたりすることができるような程良い密度感。木造と言うことで、少し音が漏れる。ちょっと音が漏れる事は良い大事で、周辺を考えれば、洗心庵があったり、歴史的な街並み文化的臭いがするので、みんな心豊かに穏やかになれる場所。そうした使い方ができる。ハレとケで言えば普段遣い「ケ」としては、高校生の音楽の授業であったり、地域の音楽を学ぶ場所、あるいは練習の場など、積極的に使ってもらいたい。また思い出の詰まった場所なので、OB OGの思い出が蘇るような場所というような活用、定期的に展示会を開くなども考えられる。
- ・ 若い人たちがそこを使えるような場所でありたい。

### テーマ②のDグループ

- ・ 建物自体が音響的な特性がすごくある。音楽の話はもちろんバレーボール、剣道、いろんなスポーツの場面でも声がよく通り音がよく響く場所だったと聞いている。構造的な部分で格子状の天井であるとか、音響の専門家に調べてもらうのも良いのではないか。
- ・ にぎわいづくりの場として、ビアホールのような使い方も考えられる一方で、歴史的に教育関係の施設だったことも考慮し、いろんな人が集まって議論するような場、若い人が集まって集って、ワークショップをしたりするような場としての活用も想定される。
- ・ 指定、登録、、、文化財としての自由度についてはどうだろうか。どんなスタイルが良いのか。
- ・ 町歩きや街探検の終着地点になりやすい場所。最後に到着したときに休めるような場所、カフェなどがあつたらいい、そんなイメージも浮かぶ。話に出た文翔館や将来移転してくる済成館のイベントと組み合わせるなどもいい。写真映えする場所にもしたい。ただ、講堂自体、外に向けてデザインする仕方では造られていないため、写真映えするスポットを見つけるのは難しい。

### テーマ③のEグループ

- ・ 市提案の歩く楽しさを演出するためには、この場所は位置づけがなされておらずこちらにあまり人が来ないのはなぜかということが最初に取り上げられた。
- ・ やはり（駅から、町の中心から）遠いと言うこと。そして休める場所がちゃんとないということ。ベンチを置いたり、休める場所がないとまずい。歩く経路に必要なだ。
- ・ 具体的にあそこで何かイベントができないか地元の人にお聞きすると、とても入りにくいとのこと。どうして入りにくいのかと言えば、雰囲気が入りにくい。それをどう

解消するかという点で、今度駅前にできるという総合的な案内所との関連を図りたい。

- ・ 物語をしっかりと作り、この場所をきちんとした、文化、歴史の場所として、皆さんに堂々と紹介できる場所にしていきたい。総合案内所へのお願いの仕方なども検討したい。行政の方も飛びつくような持って行き方がないだろうかと議論した。
- ・ 現実的には近くに3つの高校もあるし、産調ガールズの山形商業高校もある。現実にある山形の街のいろいろな文化事業や、洗心庵もあるし、同時期に参画しやすいイベントをつなげていく積み重ねが必要だ。例えば、レンタサイクルなどでつなぐことも大事だろう。

#### 話し合いのまとめ（相羽副会長）

- ・ この場所で、若い人に何かイベントをしてもらえよう具体的な方策はないだろうか。
- ・ 山商や北高への働きかけも行ったが、なかなか簡単にはいかない。
- ・ ここで議論したことを、どうやって実現性のあるものに高めていくかと言うこと。これをまとめて誰か影響力のある方に伝えると言うやり方ではなく、我々自身、あそこで何かできる事は何かないのか、あるいはやってもいいと思う人がいないのか、そうした点でご意見や感想は無いだろうか。私ならば、こういうことができる、子どもに言うならこんなことができると言ったこと。

#### 参会者から

##### WIさん（芸工大で学ぶ娘の母）

- ・ 娘は古い建物に興味があって勉強している。
- ・ 今年の夏、市民講座で山形の街を回った時に、建築物がバラバラであると思った。こうした建築物を巡るツアーであるとか、健康をテーマ歩いて回るとかできる。
- ・ 私自身出身が松本市では、同様に歴史的建造物がたくさんあるが、2月に古い建物と現代アートを組み合わせてイベントを行っている。そうした県外の他の方をターゲットにしたイベントもいいのでは。旧吉池医院の例もある。山形には山響もあるので、小さいコンサートをやったり、別々にやっていたものをつなげる。最初は小さなサイズ。それからだんだん大きなサイズを移してステップアップしていく。建物の良さがじわじわと伝わっていくのではないか。

##### SSさん（山形大学）

- ・ 山形大学工学部で景観設計、3年生の後期の授業をもっている。その授業に関しては今まで3カ所で景観を作る仕事を学生たちと一緒にやってきた。山形五堰や米沢堀立川など。この講堂のある空間も、今まで取り組んできた山形五堰の景観と合わせて何かできるのではないかと考えている。芸工大の志村先生との連携も考えたい。

SHさん（コミセン所長）

- ・ この場に市や県のまちづくりや文化財にかかわる行政人がいることが大事だと思う。
- ・ 黒木事務局長が先ほど見せてくれたスライドは、子供たちや興味を持つ地域の人たちにも紹介したい。
- ・ コミセンに戻ったら「幸せが見えるところにベンチを置こう」と提案したいと思う。
- ・ 文化財の良さ、価値を感じるというのはステキなこと、そう引き付けていくことがないと、洪水で困っているときに何を言っていると言われてしまう。町内会でも学校でもそうしたアピールが大事。実際に実務を担当する行政担当者の心に火をつけること、そのことに意を尽くすことが大事だと思う。